

■：アメリカが法人税率を20%台後半に下げるところで。これまでの連邦法人税35%は主要な貿易相手国の水準より高過ぎたとの反省から。日本も国と地方を合わせた法人税の実効税率を5%引き下げることを決めました。中国が日本を追い越してアメリカに次ぐ世界第2の貿易大国にアメリカとしてはモタモタしていたらトップの座も危うくなると見たのでしよう。世界的貿易競争激化の時代がやって来ますね。

■：競争何処吹く風、でのん気なのはわが国の政治家。菅首相の言葉をつかまえてモメたり、今度は「亡霊」のごとき鳩山前首相の「方便」発言をめぐって衆院予算委で批判の声がわき起こりました。「沖縄県民を愚弄」とか「日米両国民をばかにした発言」と集中攻撃。言葉は戦争を引き起こす」と西洋の人が言いました。菅首相以下政治家にはそんな危機感もさつと無いのでしょうか。戦争なし、安心、安全のニッポンです。

■：中東・北アフリカではエジプトなど今のところ6〜7カ国で市民

による反政府デモが、「ドミノ現象」のように発生しました。いずれも20〜40年の長期独裁政権のお国。わが国はその点コロコロ変わっても平気せいぜい居酒屋談義の恰好のテーマにしかありません。それだけ有権者が余裕を持って政治を見ている。しかし低次元の話題ですがね、民主党になってからは。

■：小沢問題が政治不信を招く「元凶」でしょう。早くあの醜態で卑（いや）しい悪相がTVの画面から消えて欲しいとみんな願っています。4月は統一地方選挙、小沢に懲（こ）りて見栄えの良い顔だけで選んではいけません。甘ちゃん面で日本語もまともでないし、中身の無い「TVニンゲン」にアキアキしているはずですから。

■：たかがバクチで大相撲の世界が大騒ぎ。フアンは大阪場所ナシで頭に来ている。八百長は明治初期、八百屋の長兵衛さんが相撲の年寄相手の碁を囲み、いつも適当に勝ちを譲ってやったことから、勝負事には付きもの。人間「感情の動物」ですから、弱い相手、不利な状況にある相手を見て情に走るの第3者がなかなか止められない。まあカネが

動くのはスポーツでは感心しません。がね。

■：昔、焼き鳥といえはスズメ。いつのころからかニワトリに。串刺しのそれは、なんとも言えない風味と歯ごたえがあつて庶民の珍味。そのニワトリが今、宮崎、鹿児島、愛知、大分など西日本中心に鳥インフルで万単位で殺処分されています。だれも人間に無害とはいいませんね。高病原性鳥インフルエンザにかかる。他のニワトリに感染するから殺処分、は理解できますが、穴に埋めずに焼いて人間様の口に、とはいかないものですかね。

■：札幌医大名譽教授和田寿郎さんがさる2月14日、88歳で死去。68年に日本初の心臓移植手術をやつてのけたお医者さん。初の臓器の移植とあつて大騒ぎになり、いわゆる「道徳屋」たちが猛烈に反発。一時は殺人容疑で裁判沙汰に。判決は嫌疑十分で不起訴。当時ですでに世界で30の先例があつたのですが、日本の医学界は未だ々々頭の固い連中が多かつたですね。その延長線にあるのが高齢者医療。くたばり損いで、本人があつた世に切望しても安楽死させてくれない。誰がもうける？

月刊公論 MONTHLY  
KORON

4月号 第44巻4号

平成23年4月1日発行 毎月15日発売  
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人  
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦  
株式会社財界通信社  
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル  
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616

印刷所  
取次店

株式会社廣済堂  
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。  
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。